

被災地での復興支援ボランティア活動を開始

東日本大震災により被害を受けられた皆さまに、心よりお見舞い申し上げます。
一日も早い復興をお祈りいたします。

MS & ADインシュアランス グループ ホールディングス株式会社（社長：江頭 敏明）は、被災地の復興支援の一環として、2011年7月30日より、グループの社員によるボランティア活動を開始します。本活動は、グループ各社の協力のもと、NPO法人 田んぼ等と連携し、震災により被害を受けた水田を再生するものです。また、ボランティア休暇制度の整備などを盛り込んだ「復興支援プログラム」を作成し、社員のボランティア活動を強力に支援します。
MS & ADグループでは、今後、被災地で生産される米を社員食堂で使用することや、被災地物産展（企業マルシェ）で販売することも検討しており、被災地の復興を継続的に支援すべく、グループをあげて取り組んでいきます。

1. 復興支援ボランティア活動について

社員がボランティアとして被災地へ行き、東日本大震災により機能を失った水田を、多様な生き物が生息する豊かな水田へ再生する活動を行います。

- （１）活動地域：宮城県本吉郡南三陸町
- （２）活動期間：2011年7月30日～
活動期間・内容は、復興のスピードと現地のニーズ等を考慮のうえ今後決定します。
- （３）活動人数：毎週10名程度
- （４）活動内容：水田の瓦礫撤去・清掃、被覆土の除去、畦道作り、水路の復元などを行います。
また、復元後には、「ふゆみずたんぼ（）」農法を用いて水田を再生します。
「ふゆみずたんぼ（冬期湛水水田）」
冬の期間に、水田に有機物を多く含む水をはる農法です。春まで水を貯めておくことで、稲の切り株やワラなどの有機物が水中で分解され、微生物や藻が発生します。抑草・施肥効果により、多様な生き物が集まる豊かな水田へと生まれ変わります。
- （５）提携先：NPO法人 田んぼ
水田の生き物を活かした環境共生農業の普及を目指して、宮城県を中心に、水田の調査・再生活動等を行う団体です。

2. 復興支援プログラムの概要

- （１）グループ各社によるボランティア休暇制度の導入
既にボランティア休暇制度のある会社を含め、グループ全社での導入を進めます。
- （２）ボランティア活動費用の会社補助制度の策定
滞在期間中（4泊5日）の宿泊費・交通費などの一部を会社が補助します。

<ご参考>

【MS & ADグループでこれまでに実施した主な復興支援活動】

- グループ社員による義援金（持株会社によるマッチング制度）
グループ全体で9000万円を超える義援金が集まり、マッチングギフト制度による持株会社拠出分とあわせて、総額1億5000万円を寄贈しました。
- 被災地の物産を販売する物産展（企業マルシェ）の開催
三井住友海上の本店（新川）やあいおいニッセイ同和損保の本店（恵比寿）等で、被災地域の農産物等を販売する物産展（企業マルシェ）を開催しています。